



聖母の被昇天 (ルカ 1:39-56)

被昇天は私たちが天に上げてもらう道の準備になった

聖母の被昇天を迎えました。神のメシアを送る計画は、救い主の母となるマリアに計画の始まりがあるのではなく、その準備の段階から始まっていました。メシアの到来の準備のために、神はエリサベトに働きかけ、時間をかけて前に進めることを望まれました。

神の計画、神の働きかけが、準備の段階から始まっているということを知るならば、私たちは神により深く信頼を寄せることができると思います。しばしばこの世で起こることは、準備の段階で関わった人と完成の段階で関わる人とが違ふことがあります。それでも、準備と完成の両方に神の働きかけがあると信じるなら慰めがあります。

聖母被昇天には、どのような神様の計画があるのでしょうか。マリアが天に挙げられた、それだけの計画だったのでしょうか。そうではないと思います。マリアのように、常に神に心を開いて生きる者が、必ず神のあわれみといつくしみにあずかる。その先駆けとして与えられた栄誉なのです。

神が、ご計画に準備の段階から関わってくださることを考えるなら、聖母の被昇天は何かの準備かもしれません。私は、聖母の被昇天がすべての人が天に上げてもらうための模範であり、準備だと思うのです。

マリアは、全生涯を神に心を開いて生きた人でした。人間的には受け入れるのが難しい出来事でも、神に心を開いてその意味が理解できる時を待ちました。神に心を開いて生き抜いたので、神から体も魂も天に上げられたのです。

これは神が私たちすべてに示された模範であり、準備でした。私たちが、マリアの模範に倣って神に心を開いて生きることを選ぶなら、私たちも天に上げてもらえるはずで。そして、マリアによって天に上げてもらう道が既に準備されているとしたら、私たちはより神を信頼できるようになるのではないのでしょうか。

神は準備の段階からご計画に関わっておられます。そして私たちは今からでも、神に心を開く生き方を考えることができます。先に子を宿したエリサベトにマリアが出かけて行ってお手伝いしたように、人の手伝いを買って出ること。神に心を開いたエリサベトとともに神をたたえたマリアのように、私たちも集まってともに神をたたえること。これらは、私たちが神によって天に上げてもらえる近道です。

マリアが、その道を先にたどってくださいました。神がマリアを通して、先に準備してくださいました。もし一つ、これに付け加えるなら、私たちより先に旅立った先祖のためにも、力を尽くしてあげましょう。私たちは今からでも生き方を選べますが、先祖はそれができないからです。日本の良い習慣に倣って、墓地で先祖とともに、集まって神をたたえるなら、天に上げてもらえるお手伝いをするすることができます。聖母を通して私たちが天の栄光に上げてもらえる準備をしてくださった神に、今日心から感謝することにしましょう。